

特集

不整脈薬物治療を考える –ガイドライン改定を踏まえて–

企画・構成／清水 渉

診る

- 1 ガイドライン改訂における主な変更点
- 2 徐脈性不整脈(洞機能不全症候群・房室ブロックなどの鑑別診断
- 3 Narrow QRS tachycardiaの薬物による鑑別診断
- 4 特発性心室頻拍の鑑別診断
- 5 **Expertise** リスク評価(塞栓症・出血)に基づく心房細動抗凝固薬(DOACとワルファリン)の使い分け

識る

- 6 発生機序(リエントリー・撃発活動・異常自動能)から考える頻脈性不整脈の治療戦略(心房細動を除く)
- 7 抗不整脈薬の分類・作用機序と薬物動態(吸収・分布・代謝・排泄)
- 8 心房細動の疫学・病態・電気生理学的機序からみた治療戦略(アブレーションも含む)
- 9 **Expertise** 遺伝性不整脈診断 up-to-date
～診断技術はどこまで進歩したか

治す

- 10 心房細動における薬物治療(洞調律維持療法・心拍数調節療法)～薬物治療の意義とアブレーションとの棲み分け(抗凝固療法を除く)
- 11 **Expertise** 併存疾患(悪性腫瘍・虚血性心疾患・消化管出血・脳梗塞後・フレイルなど)合併心房細動患者における抗凝固療法
- 12 心房細動患者における周術期(アブレーション・外科手術・消化管検査・抗菌・電氣的除細動など)の抗凝固療法
- 13 心室頻拍における薬物治療の位置づけ(遺伝性不整脈を除く)
- 14 遺伝性不整脈の薬物治療 up-to-date
- 15 心室細動、心停止に対する救急処置と急性期薬物治療

バックナンバー

Back Number

2021年3月号

持続性(慢性)心房細動の治療戦略

先生の治療方針は？

企画・構成／山下武志

診る

1. 持続性心房細動患者の症状を診る：“無症候性”患者は本当に無症状？ 武居明日美
2. 持続性心房細動患者の心電図・心エコー図検査を診る：各検査のtips and tricks 白田圭佑, 加藤武史
3. 持続性心房細動患者の予後を診る：予測するためのポイント 赤尾昌治

識る

4. 洞調律維持によるメリット, 医療介入によるデメリットを識る 大塚崇之
5. 持続性心房細動における抗不整脈薬の役割 近藤秀和, 高橋尚彦
6. カテーテルアブレーションの成績, 成功予測因子を識る 井上耕一
7. 慢性心房細動の心拍数調節のあり方を識る 加藤祐子
8. 経皮的左心耳閉鎖術の適応と手技の実践 原 英彦
9. [Expertise] ビッグデータにみる, カテーテルアブレーション後の早期死亡 山根慎一

10. [Expertise] 腎機能と心房細動カテーテルアブレーション 松田祥宏, 増田正晴

治す

11. 持続性心房細動に対してさまざまなカテーテルアブレーションで治す 宮崎晋介
12. 心房細動アブレーションも薬物治療も無効な心房細動 こう治す 大江学治, 安部治彦
13. アブレーション後の生活管理で治す 岩崎雄樹
14. [Expertise] Pulse field ablationの将来 山下省吾

〈短期集中連載〉災害時の循環器疾患管理：経験とエビデンスに基づく提言

第3回(最終回) 熊本地震の経験と提言 掃本誠治, 辻田賢一, 小川久雄

2021年4月号

循環器疾患 緩和ケアの現状を識る

企画・構成／安齊俊久

診る

1. 循環器疾患における全人的苦痛について 木澤義之, 坂下明大
2. 循環器疾患における身体症状の評価 大石醒悟
3. 循環器疾患における精神症状の評価 西村勝治
4. 緩和ケアにおけるコミュニケーションの重要性 柴田龍宏

識る

5. 循環器緩和ケアチームのあり方 佐藤琢真, 永井利幸, 安齊俊久
6. 循環器緩和ケアにおける診療の質評価指標について 濱谷康弘

7. 循環器緩和ケアにおける薬物療法のポイント 志賀 剛, 鈴木 敦

治す

8. 心不全患者における緩和ケア 坂本陽子, 大谷朋仁, 坂田泰史
9. 不整脈患者に対する緩和ケアをどうするか？ 現状と課題 鈴木 敦
10. 末梢動脈疾患患者における緩和ケア 國井浩行, 義久精臣, 竹石恭知
11. 脳卒中患者における緩和ケア 高木正仁, 古賀政利

〈連載〉心臓の解剖【知っておきたい知識 一疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学】

第1回 右房①(基本構造と右房内構造境界線) 井川 修

2021年5月号

虚血評価はPCIの適応, 治療をどう変えたか？

企画・構成／中村正人

診る

1. 核医学診断による予後予測 七里 守
2. 心臓CTによる虚血評価 谷澤(元山)貞子, 皿井正義
3. 侵襲的な虚血評価のアップデート 大橋寛史, 高島浩明
4. [Expertise] 虚血診断 モダリティの使い分け 松本直也
5. [Expertise] 負荷心エコーによる虚血評価 加藤奈穂子, 渡辺弘之

識る

6. 核医学による虚血評価の精度を高める方法は？ 笠井智雄
7. CFRとFFRのgapは何を表現しているのか？ 民田浩一
8. COURAGE試験とISCHEMIA試験との違いは何か 香坂 俊
9. [Expertise] Resting indexとFFRの共通点と相違点 菊田雄悦

10. [Expertise] PETによるMBFR評価の意義 栗屋 徹, 脇屋桃子, 国正妙子, 諸井雅男, 中村正人

治す

11. AUCの概念によるpractice 石井秀樹
12. ORBITA試験後の最適な治療 塩野泰紹
13. ISCHEMIA試験後の最適な治療 田中信大, 可児純也
14. SYNTAX II試験から考える最適な治療 浅野 拓
15. iFR-pullbackを活用した左主幹部病変の治療戦略：state-of-the-art PCIのその先へ 制澤高行

〈連載〉心臓の解剖【知っておきたい知識 一疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学】

第2回 右房②(基本構造と心血管疾患との関連) 井川 修